

倉敷市健康長寿課作
倉敷市認知症サポーター犬
笑(えみ)ちゃん
ぬいぐるみ
型紙



【材料】

- 白色フェルト（全身用）
- オレンジ色フェルト（首輪＝オレンジリング）
- オレンジ色のシールフェルト(耳のふち＝オレンジリング)
- 黒色のシールフェルト(目・鼻)
- ピンクのシールフェルト(頬・首輪のハート)
- オレンジ色の刺繍糸
- 白色の刺繍糸
- 手芸用わた

【作り方】

- 1 型紙を切り取る
- 2 フェルトに型紙をのせ、必要な枚数を確認し、写し取る
- 3 フェルトを裁つ
- 4 頭・胴体・耳・尻尾を、それぞれオレンジ色の刺繍糸でブランケットステッチで縫い合わせる。
(耳以外は“わた”を入れる開け口をつくる)
- 5 開け口から手芸用わたを詰め、開け口を縫い合わせる。
- 6 胴体2つの上部をオレンジ色の刺繍糸で、胴体の一部を白色の刺繍糸で縫い合わせる(次ページの写真に補足説明あり)
- 7 胴体と頭を白色の刺繍糸で縫いつける
(6でオレンジ色の刺繍糸で縫い合わせた部分よりも少し前方に)
- 8 尻尾を胴体に白色の刺繍糸で縫いつける
- 9 耳・目・鼻・頬に、それぞれシールフェルトを貼り付け、口を刺繍する
- 10 首輪をオレンジ色のフェルトで作り、前側にハートを貼り付ける
- 11 作成後は「倉敷市認知症サポーター犬 笑(えみ)ちゃん」として紹介してください

本型紙は倉敷市の認知症の取り組みの普及・推進するために作成しました。営利目的での使用は禁じていますが、デザインの改変(表情等)は趣旨に合っていれば可能です。色々な笑ちゃんを誕生させてください♪

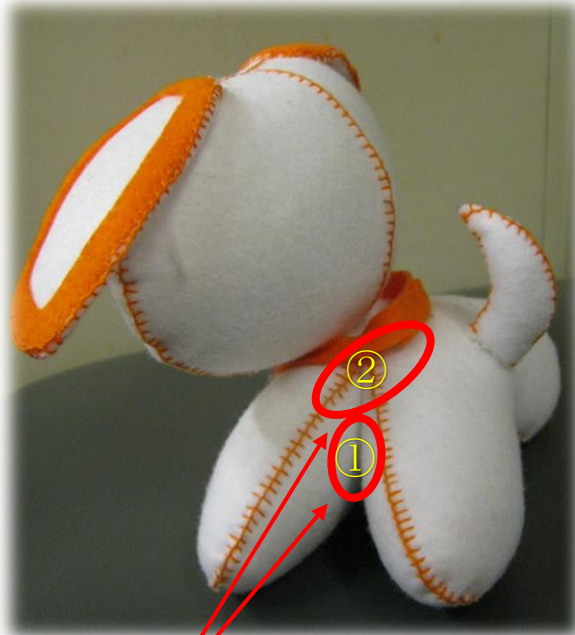
【前から見た笑ちゃん】



【後ろ姿の笑ちゃん】



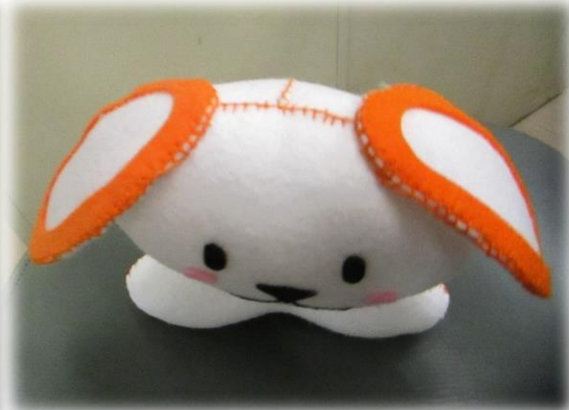
【横から見た笑ちゃん】



作り方6の補足説明

- ① 胴体の上部を縫い合わせる
（前後の胴体の縫い目を合わせて縫い合わせる）
- ② 前後の胴体をくっつけるように縫い合わせる

【上から見た笑ちゃん】



倉敷市認知症サポーター犬 笑（えみ）ちゃんを紹介

倉敷市の「認知症の人を地域で支える地域づくり」の理解・促進のマスコットキャラクターです♪

認知症サポーターの証である「オレンジリング」（両耳、首輪）とオレンジ色の縫い合わせが特徴的なキャラクターとなっています。これは地域の認知症サポーターがこれからより一層増えることで、理解や見守り、支援の手が重なりあうことをイメージしています。

<名前の由来>

笑顔で過ごせる倉敷を目指して、「笑ちゃん」と書いて「えみちゃん」と名づけました。